

京阪神地区
組織代表者
募金 促進懇談会

校友会の第二回募金本部会議は五月二十八日午後五時半から大阪駅前の中生ビル十二階、好文クラブで、樺本信雄本部長以下十四人が出席して開かれました。募金の申し込みは法人の役員、在学生、卒業生の父母、教職員、企業法人に比べて校友は出遅れており、二十九億五千万円の目標を達成するには、どうしても校友の協力が必要であつた。このためまず校友会の役員が率先して募金に応じるようつぎのような取り組みを決定した。(1)代議員に対しても月一日付で「募金申込依頼状」を発送したが、さらに促進するため申し込みのない代議員に対し「会長名により文書で組織(推薦母体)代表に要請、△校友会の役員が各組織を分担して、組織代表に電話によって要請、の両者併用して促進を図る。このためまず校友会の役員が分担して京阪神の支部長と連絡をとりながらオーナー企業を訪問、募金要請を行う。(2)校友会の役員が分担して京阪神地区組織代表者懇談会を六月二十九日、大阪証券会館で開催、方途を協議する。(3)このため京阪神地区組織代表者懇談会の検討資料とするため、全組織に対する募金状況調査アンケートを実施する。

6月29日 大阪証券会館で開催



熱のこもった審議が行われた代議員会

昭和60年度收支予算書

収入		人	
費目	59年度予算	60年度予算	比較
前期繰越金	6,500	15,148	8,648
会費収入	50,000	39,000	△11,000
会費 終身受入金	1,000 49,000	1,000 38,000	0 △11,000
会費外収入	54,300	58,468	4,168
広告料	7,300	7,500	200
校友業務受託費	32,400	34,368	1,968
利息	6,500	8,000	1,500
新聞発行協力金	100	100	0
総会収入	7,000	7,500	500
雑収入	1,000	1,000	0
合計	110,800	112,616	1,816

支		出		
費	目	59年度予算	60年度予算	比 較
人	件 費	36,410	38,131	1,721
給	期 未 手 手	24,522 7,538 900	25,870 7,761 900	1,348 223 0
通	勤 保 保 保	2,450	2,600	150
社	会 會 會 會	1,000	1,000	0
退職給付引当金繰入				
物	件 費	4,920	6,090	1,170
備	品 費	200	200	0
消	耗 品 費	750	750	0
印	刷 費	800	1,900	1,100
通	信 費	1,400	1,400	0
會	徵 収 費	1,000	1,000	0
交	通 費	200	200	0
清	社 費	120	140	20
雜	雜 費	450	500	50
会	議 費	3,210	2,650	△ 560
代	議 員 會 費	450	600	150
常	議 員 會 費	600	760	160
部	長 會 費	210	240	30
部	會 費	750	750	0
顧	問 參 与 會 費	0	200	200
特	別 委 員 會 費	1,200	100	△ 1,100
事	業 費	55,470	58,860	3,390
總	會 費	7,500	8,000	500
事	業 費	600	700	100
新	聞 印 刷 費	6,780	7,310	530
新	聞 發 送 費	34,090	35,900	1,810
編	集 諸 會 費	1,250	1,250	0
支	部 總 會 費	1,300	1,400	100
支	部 強 化 費	1,300	1,400	100
代	表 者 會 議 費	300	300	0
學	生 援 助 費	2,000	2,200	200
學	生 會 合 費	100	100	0
慶	申 費	250	300	50
涉	外 費	300	300	0
割	戻 金	300	300	0
大名簿特別会計繰出		5,000	0	△ 5,000
100周年特別会計繰出		1,600	4,000	2,400
予 備 金		3,590	2,285	△ 1,305
合 计		110,800	112,616	1,816

春の叙勲・褒章

(追加)

関係者からの連絡により
つぎの方々が判明した。

◆勲三等旭日中綬章

松田政夫氏(モリタ モロヲ) 元中部
調査局長、11專2法II主
市丑寅2丁目4-17

◆勲四等瑞宝章

堤 治助氏(モリタ モロヲ) 人吉市
團長、10專1法II人吉

町1

◆藍綬褒章

圓尾 哲氏(マツシ) 行政相

員、司法書士、28字1
兵庫県揖保郡揖保川町

32-1

◆黄綬褒章

春の叙勲・褒章

推奨依頼校は指定校枠とり、一校につき一人、頼校は毎年度新たに選出するが、六十一年度は過るが、年間の入学者実績に基づく。
社会学部の専攻は、各の希望、文学部は無作為により指定校ごとに選出を指定する。

大名簿特別会計繰出		5,000	5,000	0
100周年特別会計繰出		1,600	1,600	0
予 備 金		3,590	0	△ 3,590
次 期 繰 越 金		0	15,148	15,148
合 計		110,800	120,975	10,175

子では六十一年度
子部、文学部で推
しを採り入れること
工業部ではすで
年度から実施し、
われている。

社会学部の推薦入学制度
の趣旨は、同学部に入学を
希望する優秀な生徒を高等
学校長から推薦を受け、選
者のうえ入学を許可する。
文学部は、同学部に入学
し、特定学科において勉学
することに強い意欲を持つ
個性豊かで優秀な生徒を、
文学部の指定する高等学校
の校長の推薦及び文学部の
面接によって選考し、入学
を許可する、となつてゐる。
募集人員は社会学部が約
六〇人（定員六〇人）文
学部が約一〇〇人（同）。

推薦依頼校は指定校制を
とり、一校につき一人、依
頼校は毎年度新たに選定す
るが、六十一年度は過去三
年間の入学者実績に基づ
く。

社会学部の専攻は、各自
の希望、文学部は無作為抽
出により指定校ごとに学科
を指定する。

出願資格は六
卒業見込みの者
部は(1)第三学年一
は(1)第三学年一
全科目評定平均
以上(2)人物優秀
者で、英語もし
いずれか一つの
が四・五以上不
評定平均値が三
し、英文学科希
「英語評定平均
以上」に限定す
学校生活における
の課外活動や地
は技芸等にすぐ
特性が認められ
つてゐる。

責任ある推薦を
類選考、および
被推薦要件を満
と判断しうる者
とする。

推薦入学制を採用

61年唐から

電話設備工事

電話交換機設備・拡声表示装置 子計算機・ファクシミリ等の 計・施工・保守

富士通株式会社特約店

日新電設株式会社

代表取締役 德田喜一

大阪市東区谷町4丁目2番地
TEL (943) 1561番(代表)
営業所 京都・堺・彦根

情熱の白。 エキゾチック限定車

感性をビンビン刺激する、デ・トマソのエアロチューニング。
風を斬り裂く、あざやかな“白”。
ピアンカよ、どこまで俺たちを熱くするのか。

主な装備 (DETOMASO Turboをベースに)

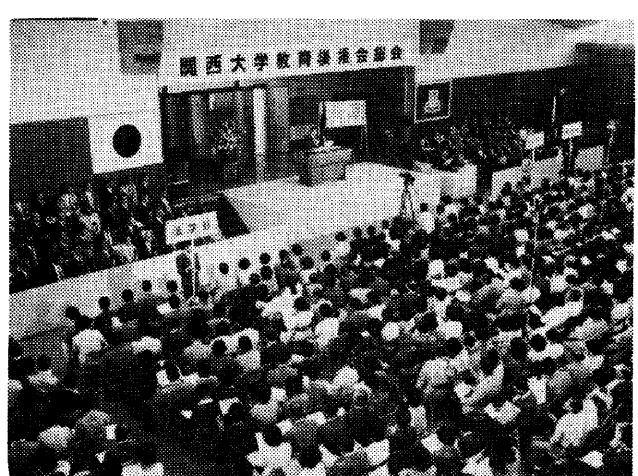
- ホワイトグリル＆ドミラー ●ピアンカ・ストライプ
- シルバー・マグネシウムホイール(カンパニヨーロ)
- フォグラブ(キャレロ) ●エイローバルブ・ヘッドランプ
- 専用バケットタイプシート ●デジタルクォーターロックetc.
- ボディカラー: ツートーン(ホワイト/シルバー)
- 内装色: ダークグレー

〈本社〉箕面市牧落4-1-8
TEL(0727)24-1223

〈本社〉 大阪市福島区福島1-4-26
TEL (06) 458-5631

情報世紀を照準する… 近電工の システムインジニアリング





関西大学教育後援会

春季総会

同窓の歓待に感激
くにうみの祭典で
金て戸別訪問
100周年

大阪俱楽部会

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

春

大

関西大学を彩る人々

矢野 載三

(下)

6 年史資料編集室
篠原 茂一

た。矢野が気なく「千葉

斎藤は、この手入れを單純

にした。矢野角は若氣なく

明快に点数かせどと割りき

た。以来、親交が続い

たが、神田屋に臨時本部をお

いた。小栗一雄警視監の

青野の紹介で、斎藤に会

えた。すこさず、「キサマ

親玉、矢野を尾行した」

つた。矢野は、この異色の組

と短刀をもどろくに警察の

隊を組織した。文士隊員

だな、俺をねらってい

の当事者とも知らずに對応

み合わせて創作欲をそぞ

がんばった」毎年二月二十日、当

のは、彼が官を辞して野に

需要優先の労働力の動員は

直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

在学中)、二年生)にあり

五月底結婚をして評論

下の直前であったが、一見

志がおのづから社会的正義

として名乗る。野性と闘

して、軍事局長のボストン

像である。彼はスマトラ

の私物人物になった。

戦局は日々とに不利、軍

は、彼は文部省議会(現在

既に国民学校高等科(現

